

## 市町村等の広域連携等に関する取組について

資料4

令和6年7月2日

項目	団体名	要 旨	資料の有無
研究開発・産業化等	いわき市	○今般、F-REIの研究公募の採択案件が順次発表され、その中には市内の企業や高等教育機関が関わる案件も含まれている。市としては、これらの委託研究が円滑かつ着実に進むよう、側面的ではあるがしっかりとサポートしていきたい。 ○また、このほかの委託研究についても、研究活動を進めるうえで必要となる資機材の調達や実証フィールドの提供など、支援できることは多くあると考えているので、ご要望があれば、遠慮なくお寄せいただきたい。	無
	南相馬市	南相馬市産業効率化地域プラットフォーム推進協議会 ○南相馬市では、地域産業が抱える人出不足等の課題に対応するため、自動化・省力化・効率化を推進する「産業効率化地域プラットフォーム」を構築し、その活動推進、国・県等施策との連携及び、プラットフォームの円滑な連携に寄与することを目的に「市産業効率化地域プラットフォーム推進協議会」を設立。 ○国が進める「ロボット先進地域ネットワーク」へ参画し、地域を超え全国的な先進地域と連携しながら、人出不足の解消と技術力向上、産業活性化を図る。	無
	広野町	○広野火力発電所、広野IGCC発電所を有する町として、脱炭素社会を目指す国際的な潮流からCO2の排出削減と燃料となる石炭の再利用に関する取り組み。	無
	飯館村	○福島国際研究教育機構における農林水産研究の推進事業 課題名：施設園芸における再生可能エネルギーを活用した循環システムの構築と実証)において、国立研究開発法人 産業技術総合研究所等が実施する「飯館みらい発電所からの排ガスを利用した、地域循環型熱および二酸化炭素利用に関する研究」と連携して、化石由来炭素を削減した未来志向型農業体系の構築を目指す。 【研究の目的】○未来志向型農業体系構築のため、飯館みらい発電所の排ガスから、農業用ハウス栽培にて必要な熱と二酸化炭素を回収し、地域循環型・供給システム開発する 【研究の内容及び目標】○飯館みらい発電所の排ガスから、農業用ハウス栽培にて必要な熱と二酸化炭素を吸着剤を用いて回収し、各農業用ハウスに運搬利用する。農業用地域循環型熱・二酸化炭素供給システムを開発する。 【研究の期間】○2024年6月末から2027年3月31日までの予定	無
人材育成	(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構	【コーディネーターの配置】 ○県からの委託事業の中で令和5年度より機構内にコーディネーターを設置していたが、令和6年4月より新たなコーディネーターが就任。 ○F-REI及びF-REI研究者が地域に求める情報を収集し、F-REIの研究活動と地域との連携を進めるための支援を行う。	無
	田村市	○当市では、教育先進地を目指すことで、市への流入人口の増加による市の活性化や、将来、市の医療や産業創出などを支え、市の発展に貢献できる人材を育成する「東大10人構想」を掲げており、オータムマスティックスキャンプやサマーイングリッシュキャンプを開催し、学力向上、英語が使えるグローバル人材育成に取り組んでいる。今後、県中地域でも小中学生を対象とした出前授業を開催いただき、次世代を担う人材の育成に取り組んでいただきたい。	無

項目	団体名	要 旨	資料の有無	
人材育成	南相馬市	<p>■国際バカロレア（IB）教育研究会 【人材育成・認知度向上等】</p> <p>南相馬市では、グローバル化や技術革新が急速に進展する社会の中で、本市の子どもたちが未来社会を生き抜くための資質・能力を育成するとともに、教育の質及び学習意欲の向上を図るため、令和5年度に国際バカロレア研究会を設置し、本市での導入可能性について研究を進めた。</p> <p>【研究結果（一次取りまとめ）の概要】</p> <p>○IB教育は本市児童生徒が、グローバル化が進展する社会の中で未来社会を切り開くために必要な資質・能力の育成に高い効果が期待できること、公立学校での導入も可能と判断できることから、市内導入に向けて取組む。</p> <p>○市内導入に向けて取組むため、導入の目的や期待される効果、要件など導入に係る指針を定める。</p> <p>○市内導入に当たっては、想定される課題に対応しながら、まず、小学校においてPYPの導入に向けて取組む。</p> <p>○市内幼稚園・保育園での導入は、小学校への接続を踏まえた対応を考慮する必要があることから、引き続き導入可能性について研究を進める。</p> <p>○MYP、DPについては、中高一貫教育により導入するケース、小中一貫教育によりPYPからMYPに接続するケース、それぞれ単独で導入するケースがある。さらにカリキュラム等の教育活動についても外国語教育を強化して取組むケースがあるなど様々なパターンがあることから、効果的な導入の在り方について県との協議を含め、引き続き研究を進める。</p> <p>※国際バカロレア（IB：International Baccalaureate）教育のプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PYP（Primary Years Programme）3歳～12歳までを対象。精神と身体の両方を発達させることを重視しているプログラム。</li> <li>・MYP（Middle Years Programme）原則として11歳～16歳までを対象。青少年にこれまでの学習と社会のつながりを学ばせるプログラム。</li> <li>・DP（Diploma Programme）16歳～19歳までを対象。所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められる大学入学資格（国際バカロレア資格）が取得可能なプログラム。</li> </ul>	無	
		<p>こども未来フェスティバルへのブース設置（復興知関連大学による協力）</p> <p>○南相馬市では、こども・子育てを地域社会全体で応援する機運の醸成を図ることを目的として、令和6年11月16日（土）に「令和6年度こども未来フェスティバル」を開催予定（隔年開催）。</p> <p>○フェスティバルでは、本市において復興知に取組まれている大学（東北大学、福島大学、会津大学）に協力いただき、「大学生ワークショップ」として体験型ブースを設置予定。科学やイノベ構想などに対するこどもたちの興味関心の醸成を図る。</p> <p>前回は、ロボットシミュレーター、ロボット操縦体験、でんぶん・糖度等の測定実験などを実施した。今回実施内容は検討中。</p>	 <p>(参考) 前回の開催状況</p>	無
	大熊町	○認定こども園（預かり保育）・義務教育学校・学童保育が一体となった町立の教育施設「学び舎ゆめの森」において、教育のSTEAM化による探求学習の推進に取り組んでいる。	無	
双葉町	○双葉町では町内における学校再開の検討の本格化させ、昨年度には学校設置基本構想を取りまとめました。同構想では、子育ての観点から保育園や学童保育も備えることや、地域へも開かれた施設としていく方針を策定しました。 先日6/3に令和6年度第1回学校設置検討委員会を開催し、構想の具体化に取り組んでいます。 引き続き、施設のレイアウトや機能など検討を深化し、魅力的な学校を再開し、子供たちを迎えられる環境整備に取り組んでいきます。	無		

項目	団体名	要 旨	資料の有無
人材育成	(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構	<p>【F-REIとの連携】</p> <p>○福島県の未来を牽引する高校生等を対象に行う「ふくしまイノベ未来講座」にF-REI研究者を派遣する等、F-REIの「出前授業」と連携した人材育成を行う。</p> <p>○イノベ地域に興味や関心を持つスタートアップ事業者等を対象とした「スタートアップツアー」の中で、F-REI担当者からF-REIの取組を紹介。</p>	有 【資料5-4】
その他	福島県	<p>○RTFのF-REIへの統合基本合意書締結について</p> <p>○F-REI・福島イノベ機構・県による包括連携協定締結について</p> <p>○県関連予算について</p> <p>○連携"絆"特区について</p>	有 【資料5-1】
	いわき市	<p>○F-REIとの将来の連携も見据え、市内産学官で地域連携プラットフォームの構築を目指している。現在は、各大学等で行っている既存の取組み・コンテンツを集約し、各大学にとどまらず学生が相互参加できるプログラムなどを整理している。</p> <p>○首都圏で活躍している本市出身の方々と地元各団体の方々ととの情報交換等を図ることで本市の発展に向け御支援・御協力をいただくことを目的に「いわき市在京・地元各界交流の夕べ」を開催している。</p> <p>○今年度も令和6年8月20日に行われ予定であり、F-REIの認知度向上のために、F-REIに対してブース出展の提案をしている。今後もF-REIの認知度向上に繋がるような市のイベントがある場合には、提案していきたい。</p>	無
	大熊町	<p>○大川原地区復興拠点には、コンビニエンスストア・雑貨屋・飲食店・コインランドリー・美容室・電器店が並ぶ商業施設「おおくまーと」、日帰り入浴も可能な宿泊温浴施設「ほっと大熊」、多目的ホール・運動スタジオ・音楽スタジオ・クッキングスタジオなどがある交流施設「linkる大熊」、毎週火曜日・木曜日で受診可能な「大熊町診療所」が整備されている。</p> <p>○また、大野駅周辺の賑わい創出事業も進められており、令和6年12月に産業交流施設「CREVAおおくま」の開所、令和7年3月に商業施設「クマSUNテラス」のグランドオープン、令和9年度には社会教育複合施設の開所を予定している。同じく大野駅西側においては、令和11年度以降での県立大野病院の後継機関の開院も予定されている。</p>	有 【資料5-2】
	浪江町	<p>○F-REI立地に伴い、将来的な外国人研究者などが安心して生活できる環境整備のため、令和5年度に「訪日外国人へ向けのおもてなしガイドブック」を作成しましたので共有します。なお、同ガイドブックは浪江町ホームページに掲載しておりますので、ご自由にご使用ください。</p>	有 【資料5-3】